

筑波大学教職課程に関する自己点検・評価項目に対応する評価ルーブリック

	評価項目	Excellent	Minimal	Defect
(1) 教育理念・学修目標	(1)-① 教員の養成の目標及び目標を達成するための計画の策定状況	教員養成の目標が具体的かつ明確な形で設定されている。また、当該目標を達成するための計画が『筑波スタンダード・学群スタンダード』に示される大学の三つの方針、こと学士課程の五つの教育目標（創造性の涵養、豊かな教養とコミュニケーション力の育成、優れた文化的営みに感動する力の涵養、積極的に社会に貢献する態度の育成、自律的に自己を成長させ続ける力の涵養）との関係が意識されて策定されている。	教員養成の目標が具体的かつ明確な形で設定されている。ただし、当該目標を達成するための計画が、『筑波スタンダード・学群スタンダード』に示される大学の三つの方針、こと学士課程の五つの教育目標（創造性の涵養、豊かな教養とコミュニケーション力の育成、優れた文化的営みに感動する力の涵養、積極的に社会に貢献する態度の育成、自律的に自己を成長させ続ける力の涵養）との関係が不明確なまま策定されている。	教員養成の目標が設定されていない。もしくは、目標が具体的かつ明確な形で設定されていない。
	(1)-② 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た学びの成果の把握や自己点検・評価の結果を踏まえつつ、社会情勢や教育環境の変化等に応じた見直しが行われている。	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た学びの成果の把握や自己点検・評価の結果を踏まえつつ、社会情勢や教育環境の変化等に応じた見直しの方針が検討されている。	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た学びの成果の把握、もしくは自己点検・評価が実施されていない、または、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた見直しが行われていない。
(2) 授業科目・教育課程の編成実施	(2)-① 教職課程の体系性・編成状況	法令及び教員の養成目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られている。	法令及び教員の養成目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設されているが、それを運用するにあたっての役割分担が不十分である。	法令及び教員の養成目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設されていない、かつ適切な役割分担が図られていない。
	(2)-② 教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	ICT環境、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が十分に整備されている。	ICT環境、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が部分的に整備されている。	ICT環境、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されていない。
	(2)-③ ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	ICT活用指導力や情報リテラシーの向上に資する科目が適切に配置され、各科目間の役割分担が適切に図られている。	ICT活用指導力や情報リテラシーの向上に資する科目が適切に配置されているが、各科目間の役割分担が適切には図られていない。	ICT活用指導力や情報リテラシーの向上に資する科目の配置が不適切であり、各科目間の役割も適切には分担されていない。
	(2)-④ 教職課程の学びの質保証のための取り組み（キャップ制等を含む）	1単位あたりの学修時間の確保に対して効果的な取り組みを実施している。	1単位あたりの学修時間の確保に対して効果的な取り組みの方針が検討されている。	1単位あたりの学修時間の確保に対して効果的な取り組みの方針が検討されていない。
	(2)-⑤ 教職課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価等を踏まえて教育課程の充実が図られ、適切な見直しが行われている。	学修成果や自己点検・評価等を踏まえて教育課程の充実が図られているが、適切な見直しまでは及んでいない。	学修成果や自己点検・評価等を踏まえた教育課程の充実が考えられていない。
	(2)-⑥ 個々の授業科目の到達目標の設定状況	個々の授業科目のすべての到達目標が、法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへ対応する形で設定されている。	個々の授業科目の到達目標が、法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへ対応していることが十分に表現されていないものがある。	個々の授業科目のなかに、到達目標が、法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへ対応する形で設定されていないものがある。
	(2)-⑦ シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等がシラバス上で明確に記載されている。また、上記の項目の記載について、組織的に点検し、場合により改善を求める体制ができています。	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等がシラバス上で明確に記載されている。しかし、上記の項目の記載について、組織的に点検し、場合により改善を求める体制が十分に整っていない。	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等がシラバス上で明確に記載されていない。かつ、上記の項目の記載について、組織的に点検し、場合により改善を求める体制ができていない。
	(2)-⑧ アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、アクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が教職課程上充分に行われている。	授業科目の到達目標に応じ、アクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が教職課程上行う計画が立案されているが、十分な実施には至っていない。	授業科目の到達目標に応じ、アクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が教職課程上で検討されていない。
	(2)-⑨ 個々の授業科目の見直し状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて個々の授業科目の充実がすべての科目において図られるとともに、適切な見直しが行われている。	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて個々の授業科目の充実を図ること、および適切な見直しを行うことを授業担当者に周知している。	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえた個々の授業科目の充実、および適切な見直しについて組織的に対応していない。
	(2)-⑩ 教職実践演習及び教育実習等の実施状況	教職実践演習、教育実習事前指導・事後指導が、大学の主体的な関与の下で適切に行われている。	教職実践演習、教育実習事前指導・事後指導が、大学の関与の下で適切に行われていることを点検する体制が整っていない。	教職実践演習、教育実習事前指導・事後指導が、大学の関与の下で行われていない。
(3) 学修成果の把握・可視化	(3)-① 成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価の厳格性・妥当性を担保するために、成績評価に関する全学的な基準が策定され、公表されている。	成績評価の厳格性・妥当性を担保するために、成績評価に関する全学的な基準が策定されているが、公表されていない。	成績評価の厳格性・妥当性を担保するために、成績評価に関する全学的な基準が策定されておらず、公表されていない。
	(3)-② 成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化が図られている。	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化の意識が教員間で共有されている。	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化について対策が講じられていない。
	(3)-③ 教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されている。また、学生が履修カルテと照らしあわせて達成状況を意識できるような指導を行っている。	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されているが、学生が履修カルテと照らしあわせて達成状況を意識できるような指導を充分には行っていない。	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されておらず、学生が履修カルテと照らしあわせて達成状況を意識できるような指導を行っていない。

	(3)-④	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らして定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に評価・評語に反映することができている。また、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準がシラバスにあらかじめ明確に記載されている。	各授業科目の到達目標に照らして定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に評価・評語に反映することができているが、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準がシラバスにあらかじめ明確に記載されていない。	各授業科目の到達目標に照らして定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に評価・評語に反映することができない。また、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準がシラバスにあらかじめ明確に記載されていない。
(4) 教職員組織	(4)-①	教員の配置の状況	教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を上回って充足している。	教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足している。	教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足していない。
	(4)-②	教員の業績等	授業担当者が当該科目を担当するに相応した研究業績を有している。また、学校現場等での実務経験を有する者が、教職課程もしくは学生の指導に関わっている。	授業担当者は当該科目を担当するに相応した研究業績を有しているが、学校現場等での実務経験を有する者が、教職課程もしくは学生の指導に関わっている数は充分とは言えない。	授業担当者が当該科目を担当するに相応した研究業績を有していること、もしくは学校現場等での実務経験を有する者が、教職課程もしくは学生の指導に関わっていること、いずれもが満たされていない。
	(4)-③	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を充分配置できている。	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できている。	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を充分には配置できていない。
	(4)-④	FD・SDの実施状況	教職課程を担う教員及び事務職員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが複数回実施されている。	教職課程を担う教員及び事務職員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが実施されている。	教職課程を担う教員及び事務職員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが実施されていない。
	(4)-⑤	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の担当者がFDの一環として授業を省察できるように、効果的な授業評価アンケートが実施されている。	評価アンケートが実施されている。ただし、個々の授業科目の担当者が授業の省察を行える、FDとして効果的なアンケートとはなるために課題を残している。	授業評価アンケートが実施されていない。
(5) 情報公表	(5)-①	学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行われている。	法令に定められた情報公表が行われているが、必ずしも学外者にわかりやすく情報公表が行われているわけではない。	法令に定められた情報公表が行われていない。
	(5)-②	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに充分に説明できている。	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうか、エビデンスとともに説明している。	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうか説明できていない。
	(5)-③	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価報告書を公表することができている。	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、自己点検・評価の評価報告書を公表している。	根拠となる資料やデータ等が示されず、自己点検・評価の評価報告書が公表されていない。
(6) 教職指導（学生の受け入れ・学生支援）	(6)-①	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	教職課程に関する情報提供が積極的に実施されている。かつ、教職課程履修開始時・開始後の各段階で、教員の養成の目標に照らして適切に学生の適性や意欲を確認している。	教職課程に関する情報提供の実施ができていないが、教職課程履修開始時・開始後の各段階で、教員の養成の目標に照らして適切に学生の適性や意欲を確認するには至っていない。	教職課程に関する情報提供の実施ができておらず、教職課程履修開始時・開始後の各段階で、教員の養成の目標に照らして適切に学生の適性や意欲も確認していない。
	(6)-②	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行われている。また、履修指導にあたって履修カルテを適切に活用できている。	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行われているが、履修指導にあたって履修カルテが十分に活用されていない。	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行われておらず、履修指導にあたって履修カルテも適切に活用できていない。
	(6)-③	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築され、充分に実施されている。	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が構築されている。	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が構築されていない。
(7) 関係機関等との連携	(7)-①	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、教育課程の充実や学生への指導の充実につなげることができている。	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図っているが、教育課程の充実や学生への指導の充実につなげる具体的な取り組みには至っていない。	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図られておらず、教育課程の充実や学生への指導が充分に行われていない。
	(7)-②	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができている。	教育実習を実施する学校と連携・協力を図っているが、学校より伝えられる情報を活かし、実習を適切に実施するまでには至っていない。	教育実習を実施する学校と適切な連携・協力を図っていない。
	(7)-③	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するための学外の多様な人材を事務経験のある教員又はゲストスピーカー等を充分に活用できている。	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するための学外の多様な人材を事務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用している。	学外の諸機関との連携が充分ではなく、教育課程を充実するための学外の多様な人材を活用できていない。